

救急科専門研修 モデルプログラム

当プログラムの特筆点を分かりやすく抜粋しました。詳細・お問い合わせはページ下部にある QR コードからご覧いただけます。

どんな状況でも活躍できる！オールラウンダー "救急科専門医"

この経験は
将来必ず
君を輝かせる

1～3次の救急初期診療に加え、主治医として集中治療管理を行っています。救急科専門医だけでなく集中治療専門医の認定施設です。診療の質/量ともに多摩エリアを代表する救命救急センターです。最も誇れる点は、科内の雰囲気の良いと、各科とのスムーズな連携です。約15名の専従医で2交代制(入りと明けの確保)を維持しています。



八王子救命で実現できる5つのこと

柔軟性

労働基準に則った「2交代制勤務」を実施していますので、無理なく効率的な研修を続けられます。

2交代制

1年間だけのプログラムがあります。例えば目的に合わせて2年目から他領域への移行も可能です。

学外勤務

信頼できる病院・施設と多数連携しており、勤務内容・給与に応じてアレンジが可能です。

充実した環境

ER(1次・2次・3次) + ICU管理 + 急変対応の全てに習熟することができます。

スペシャル育成

各種手術・内視鏡・エコー・学術研究・ドクヘリなど特別育成プログラムがあります。どんどん応援します！



研修プログラムの概要

「救急・集中治療」スタッフ

モジュール1 (約12ヶ月)

+

小児救急・総合診療
他科診療・地域診療

モジュール2 (約12ヶ月)

+

「救急・集中治療」リーダー

モジュール3 (約12ヶ月)

八王子医療センターにて全ての救急症例を救急科スタッフとして従事

各連携施設にて上記診療に従事 また希望領域に応じて他科診療を3～6か月ラウンドすることも可能

八王子医療センターにてリーダー的立場で診療に従事

後期研修医・先輩救急医の声

研修医時代、もともとは内科志望でしたが、救命救急センターをラウンドしてみて、ここに進もうと考えが変わりました。患者さんの急変に即座に対応できる救命の技術に惹かれたということが大きな理由でした。

20代 女性医師

1年でもうちの救命センターでやってみれば、どこの病院に行っても不安なく内科当直・外科当直も含めて、診療ができるのではないかと思います。それから専門に行くのか、救急で続けて学んでいくのか選んでも、得られる経験の豊富さから言えば、全く遅くないと思います。

30代 男性医師
救急科専門医



プログラム統括責任者
救命救急センター長
弦切 純也

プログラムのダウンロードができます

その他詳細はこちらにて
救急科専門研修プログラム
応募までの流れ



◀ 見学・お問い合わせはこちらから

メール：h-senmon@tokyo-med.ac.jp

電話：042-665-5611 (代表)

東京医科大学八王子医療センター
救命救急センター

<https://qq8oji.com/>

